

自立支援協議会 相談支援部会 記録

日時：令和5年9月8日（金） 15：30～17：00

場所：今治市総合福祉センター 2階 障がい者交流室

●参加事業所

- ・今治市障がい福祉課
- ・今治市基幹相談支援センター
- ・ときめき
- ・今ねっと
- ・障がい者生活支援センター
- ・発達支援センター
- ・就業・生活支援センターあみ

○議論内容

1. 各事業所からの報告

2. 前回の振り返り、感想

- ・当事者と会うまでに時間がかかり困難である。早い段階に他機関に知ってもらいと、安心して繋がられる。
- ・まずは箇々の特性や考え方を理解することが重要。長期間ひきこもっている方は特に支援が困難化しやすい。当事者の多くは、「しんどい。」「こわい。」という気持ちがベースにある。認定調査時に小中学校時代の話聞くようにすると、より本人の背景が分かるようになった。
- ・ひきこもりは恥ずべきことではないと伝えるための関係づくりが必要。横のつながりの必要性をより感じた。

3. 今後の議題について

- ・関係機関と情報共有ができるネットワーク作り
- ・孤立している人がどこかへ繋がれたら。
- ・当事者や当事者家族が「あったら良い。」と思う福祉資源を出し合いたい。
- ・SNSでの周知が理想。まずは支援方法のチャート図を作りたい。
- ・子ども食堂を通じてヤングケアラーについて学びたい。
- ・個人的にひきこもり支援をしているインフォーマルサービスの把握をしたい。
- ・ひきこもりの事例から、相談に繋がった経緯や成功など分析したい。

●次回までの課題

各機関からひきこもりケースの資源に繋がったきっかけ（相談経緯、資源、相談窓口等）を持ち寄り、経緯や成功を分析する。